

**ゴキゲンキ**  
木崎ゆきま

野山動物園  
野山動物園  
野山動物園

海外体験ツアー  
**さいたま希望の翼**  
募金のご協力をお願いします  
一般財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団  
TEL 048-795-9930

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

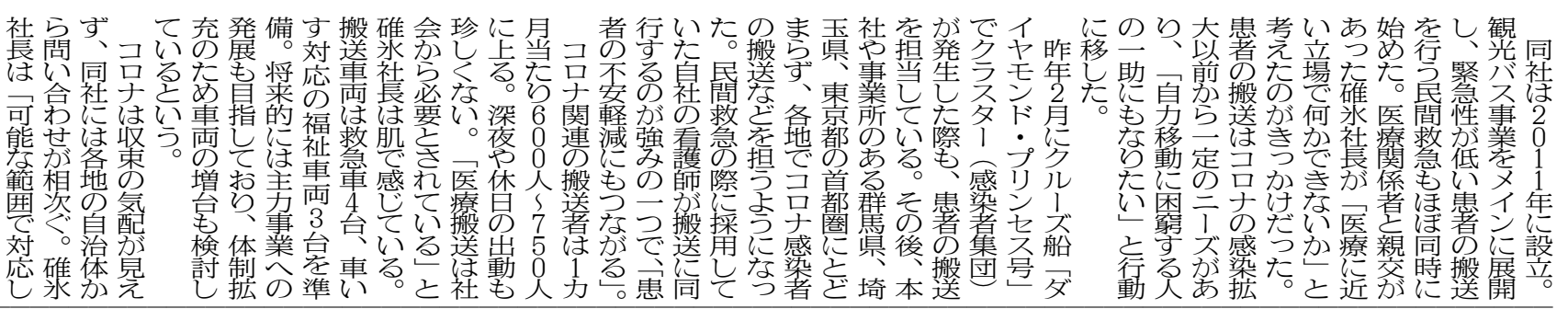
新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。



## 「民間救急」経験生かし感染者搬送

民間救急の経験を生かし、新型コロナウイルス感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。



# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

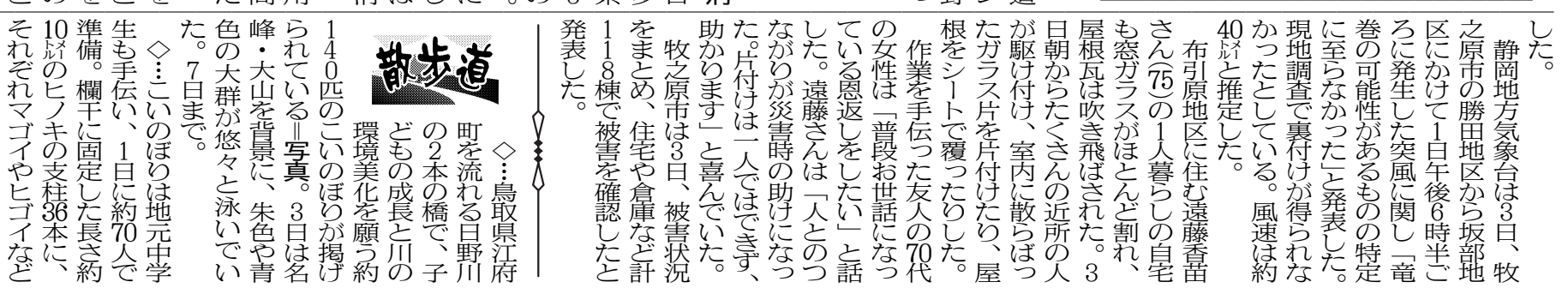
新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 「助かる命一人でも多く」 羽生に事業所のバス会社

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。



静岡地方気象台は3日、牧之原市の勝田地区と坂部地区にかけて1日午後6時(土)に発生した突風(瞬間最大風速)の可能性があるものの、特定に至らなかったと発表した。現地調査で裏付けが得られなかったとしている。風速は約40メートルと推定された。

布引原地区に住む藤原由香さん(75)の1層の自宅も窓ガラスが飛ばされた。3日朝からたさんの近所の人々が駆けつけ、室内に散らばったガラス片を片付けた。屋根をシートで覆った。70代の作業を手伝った友人の70代の女性は「普段お世話になっている恩返しをしたい」と話した。連絡は「一人ひとりが助け合えばいい」と話した。連絡は「一人ひとりが助け合えばいい」と話した。

# 県内新たに198人感染 新型コロナ

新型コロナウイルスの感染拡大で観光需要が落ち込む中、羽生市に事業所があるバス会社「スター交通」(群馬県大泉町、確米浩敬社長)は、コロナ感染者の搬送業務に力を注いでいる。以前から緊急の低い傷病者を「民間救急」として搬送してきたノウハウを生かし、コロナ禍で対応に苦慮する救急医療を民間の力で支援。月間700人前後を搬送しており、確米社長は「助かる命を一人でも多く救ってきたい」と力を込める。

「大変な思いをしている。体制の現状などを聞き取り調査したい」。3月下旬、仙台。患者搬送の請負契約を市で1日当たりのコロナ感染者と締結し、3日後には搬送業者が100人以上になった。トップと看護師の2人が現場に報道されると、確米社長へ派遣した。「突発的な事象はすぐさま仙台市に向かい、現場に乗り出す。責務を果した。市役所や宮城県庁で救急い一確米社長は語る。

# 生活困窮6人相談 さいたま市の臨時窓口

新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮している人を対象に、さいたま市は3日、大宮区役所に臨時福祉相談窓口を開いた。市生活福祉課によると、午前10時から午後4時に、メール1件を含め6人の相談を受け付け、生活保護制度や住居確保給付金などの支援策を説明した。

市は宿泊場所の提供を通常で行っており、4月30日まで大宮区役所に臨時福祉相談窓口を開いた。市生活福祉課によると、午前10時から午後4時に、メール1件を含め6人の相談を受け付け、生活保護制度や住居確保給付金などの支援策を説明した。

# 重症者全国1084人 2日連続最多

厚生労働省は3日、新型コロナウイルス感染症の重症者が前日より34人増えて1084人になったと発表した。前日の1050人に続き、2日連続で過去最多を更新した。感染力が強い変異株の拡大が影響していると考えられる。第4波で医療提供体制のさらなる逼迫(ひっ迫)が懸念される。重症者が最多だったのは、1月27日公表の1043人。昨年12月ごろから流行「第3波」のなかで、首都圏や近畿圏で2度目の緊急事態宣言が発令された。緊急事態宣言が発令された。緊急事態宣言が発令された。

# 元妻計画的犯行も 資産家殺害夕食に覚醒剤混入か

和歌山のド・ファンと野崎さんと須藤容疑者(47)は、2018年に殺害された容疑で逮捕された元妻須藤早苗(25)が、野崎さんと2人きりで夕食を取っていたことから、県警がこの際、覚醒剤を混入し摂取させた疑いがあるとみて、捜査を進めている。捜査関係者への取材で分かった。事件が計画的だった可能性があるとみて調べている。

捜査関係者によると、須藤容疑者は逮捕後の取り調べで、野崎さんと2人きりで夕食を取っていたことから、県警がこの際、覚醒剤を混入し摂取させた疑いがあるとみて、捜査を進めている。捜査関係者への取材で分かった。事件が計画的だった可能性があるとみて調べている。

# 書き写し依頼 関与を認める

愛知県知事のリコール運動を巡る署名偽造事件で、佐賀市に所在する佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。

佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。佐賀市リコール事務局長(佐賀)が、署名写しの作業を行ったと認めた。

# 静岡の突風被害 住民ら助け合い

静岡地方気象台は3日、牧之原市の勝田地区と坂部地区にかけて1日午後6時(土)に発生した突風(瞬間最大風速)の可能性があるものの、特定に至らなかったと発表した。現地調査で裏付けが得られなかったとしている。風速は約40メートルと推定された。

布引原地区に住む藤原由香さん(75)の1層の自宅も窓ガラスが飛ばされた。3日朝からたさんの近所の人々が駆けつけ、室内に散らばったガラス片を片付けた。屋根をシートで覆った。70代の作業を手伝った友人の70代の女性は「普段お世話になっている恩返しをしたい」と話した。連絡は「一人ひとりが助け合えばいい」と話した。連絡は「一人ひとりが助け合えばいい」と話した。

# 歩道 環境美化を願う

町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。

町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。町を流れる日野川の歩道は、環境美化を願う。

# 平和への思い新たに 春日部の寺院に「9条の碑」

憲法改正の3日、春日部市小淵の小淵山観音院で、市民が募金呼び掛けで建立した「9条の碑」の除幕式が行われた。完成した碑を前に、参加者434人から計385万3222円の募金が集まった。除幕式では、石川良三市長が「平和に向けて力を合わせる」との思いを述べた。碑の建立は、市民の力を結集し、平和の象徴を刻んだ。碑を建てるのが発意。意見交換した。

**【県内の新型コロナウイルス相談窓口】**  
▽月～土、祝日(午前9時～午後5時半)  
県受診・相談センター

▽平日昼間(午前8時半～午後5時15分)	048・762・8026
▽南保健康所	048・262・6111
▽朝霞健康所	048・461・0468
▽春日部健康所	048・737・2133
▽草加健康所	048・925・1551
▽鴻巣健康所	048・541・0249
▽坂本健康所	0493・22・0280
▽坂本健康所	049・283・7815
▽狭山健康所	04・2954・6212
▽狭山健康所	0480・61・1216
▽幸手健康所	0480・42・1101
▽熊谷健康所	048・523・2811
▽本庄健康所	0495・22・6481
▽秩父健康所	0494・22・3824
▽秩父健康所	048・840・2220
▽川越健康所	049・227・5107
▽越谷健康所	048・940・5153
▽川口市健康所	048・423・6832

**【県の相談窓口】(24時間)**  
県民サポートセンター  
0570・783・770  
ファックス  
048・830・4808  
【金融相談など】  
関東経済産業局産業部中小企業課  
048・600・0321  
県産業労働部金融課企画・制度融資担当  
048・830・3801  
県よろず支援拠点経営相談窓口  
0120・973・248  
県緊急事態措置相談センター  
048・830・8141  
埼玉しごとセンター  
048・826・5601  
外国人向けコロナウイルス相談ホットライン  
Coronavirus Hotline for Foreign Residents.  
048・711・3025